

高血圧治療薬ディオバン® 年間売上400億円を突破

- 発売以来約100万人の患者さんに処方され、臓器保護作用などで高い評価 -

12月19日、ノバルティス ファーマ株式会社が販売するアンジオテンシン 受容体ブロッカー (ARB) デオバン® (一般名：バルサルタン) の今年1月からの売り上げが、400億円(薬価ベース)を突破しました。当社としては初めての400億円製品の誕生となりました。

ディオバンは、発売時に設定したピーク時(2004年)の売り上げ見込み400億円を、わずか2年1ヵ月で達成したことになります。これに伴い、2004年以降のピーク時見込みを700億円に上方修正しました。

ディオバンは、発売以降、優れた降圧効果とアンジオテンシン 受容体タイプ1に対する選択性の強さ、数々のエビデンスによって示される臓器保護作用などが、医療関係者から高く評価され、順調に売り上げを伸ばしてきました。この間に使用された患者さんの数は、のべ約100万人にも上るものと推定されています。また、ARBの降圧薬としての認知および処方率も確実に増加し、2002年11月現在でARBの売り上げのシェアは、降圧薬市場の26%を占めるまでに至りました。

ディオバンは、世界90カ国以上の国と地域で発売され、いずれも高い評価を獲得しています。特にアメリカでは、今年に入ってからARBではナンバーワンの処方シェアを獲得しています。

ノバルティス ファーマ株式会社 専務取締役医薬品事業本部長 馬場宣行は、次のように述べています。「カルシウム拮抗薬のシェアが高い日本の高血圧治療薬市場で、発売後約2年という短期間で400億円を突破したことは、単に売り上げ金額以上の意義があるものと思います。専門領域に特化したMRが、徹底した情報提供活動を行った結果、臓器保護作用など、今までの降圧薬にはないディオバンの優れた特性が日本でも医療関係者に高く評価され、患者さんの治療に貢献できたからであると考えています」

これからの高血圧治療においては、血圧を単に下げるだけでなく、血圧上昇の原因のひとつであるレニン・アンジオテンシン系に直接作用し、さらに、患者さんの生命予後とQOLの向上に貢献できる臓器保護作用を併せ持つ薬剤が選択されていくものと考えられています。

ディオバンは、すでにポジティブな結果が出たVal-HeFT(心不全)をはじめ、VALUE(ハイリスク高血圧患者)、VALIANT(心筋梗塞後患者)、NAVIGATOR(心血管イベントを生じるリスクが高いいわゆる糖尿病予備軍の耐糖能異常患者)の4つの大規模臨床試験を実施しており、ARBの大規模試験としては最大規模の患者数を対象としています。ノバルティス ファーマは、今後もさらなるエビデンスの集積に努め、高血圧治療のリーディングカンパニーとして、多くの患者さんの治療に貢献していきたいと考えています。